

仮想水から考える 水資源問題

DEレポート No. 4

2022年12月9日

作成者:T.F

 脱炭素経営ドットコム

By DENKOSHA

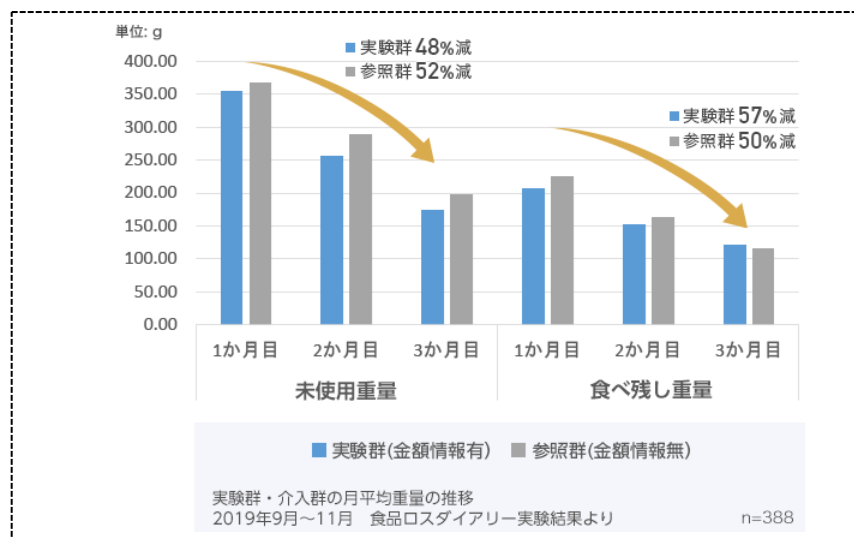
「DEレポート」とは、環境やSDGsに係る社会問題を取り上げ、原因・背景から解決に向けた施策事例や将来の展望までを調査しコンパクトにまとめた報告書です。脱炭素経営ドットコムを運営する株式会社電巧社では、全従業員が本レポートの作成に取り組んでいます。



■ 食品ロスダイアリーアプリ

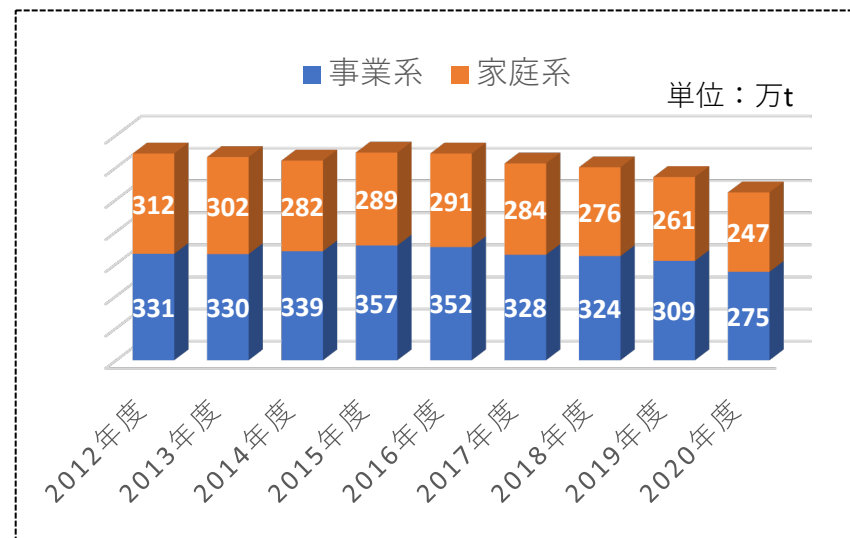
- 神戸市と協働しているNPO法人ごみじゃぱん食品ロスチームが環境省の研究助成を受けて「食品ロスダイアリー」アプリを開発
- 2018年度から3年にわたって、家庭における食品廃棄に関する詳細な実態調査(食品ロスダイアリー)を実施したところ、食品ロスのダイアリーをつけることで、食品ロスの削減に効果があることが判明
- 日本の食品ロスだけでも世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量の約2倍に相当する。
- お米を国民一人当たり年間約41kg捨てていることになり、仮想水で想定すると15万Lの水を無駄にしている。

■ 食品ロスダイアリーによる未使用食品・食べ残しの発生回数推移



出典: [NPO法人ごみじゃぱん食品ロス削減チーム](#)

■ 日本の食品ロスの推移



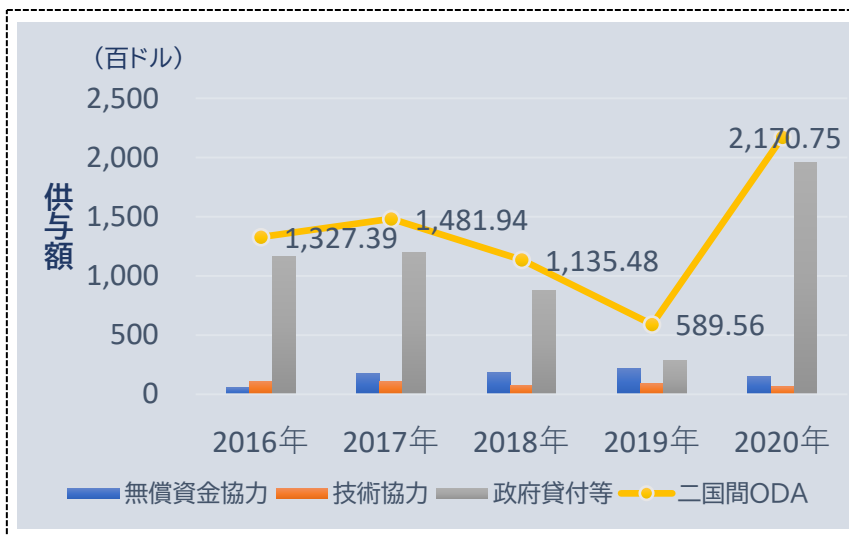
出典: 農林水産省「[食品ロス量の推移\(平成24～令和2年度\)](#)」を参考に筆者作成

今後、人口増加により水資源不足は更に深刻化していく

■ 日本の今後の貢献

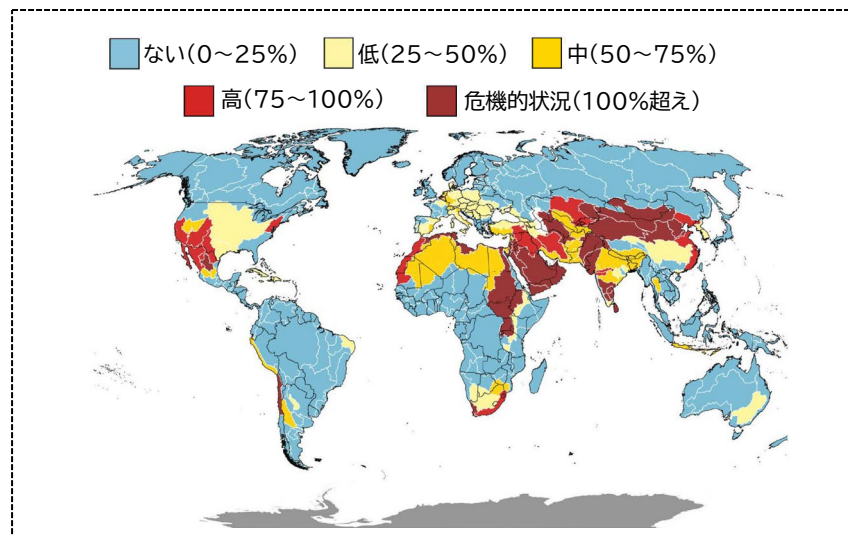
- 2022年現在、世界の約22億人が、安全に管理された飲み水の供給を受けられず、42億人が安全に管理されたトイレなどの衛生施設を使うことができない暮らしをしている。
- 水需要は2000年から50年間で55%の増加が予想されており2050年には、深刻な水不足に見舞われる人口は世界人口の40%以上となる見込みである。
- 水輸入大国である日本は限りある貴重な水資源を世界全体で公平に確保でき、安全な水にアクセスできるように水分野におけるODAを実施している。
- 日本の海水淡水化技術の世界最高レベルであり、日本企業としては技術の向上により水資源不足問題の貢献を期待されている。

■ 水分野における日本のODA供与実績



出展: 外務省「[開発協力白書・参考資料集](#)」2016～2020年の「二国間政府開発援助分野別配分」の水と衛生(上下水道等)より筆者作成

■ 主要河川流域ベースの水不足ストレス度合い(2018年)



出典: 国連食糧農業機関(FAO)及び国連水関連機関調整委員会(UN-Water)「[MAP S.8, LEVEL OF WATER STRESS OF ALL SECTORS BY MAJOR BASIN, 2018](#)」を利用し筆者作成

水輸入大国「日本」は技術力で世界に貢献

- 環境省 [「バーチャルウォーター」](#)、2022年10月20日閲覧
- 環境省 [「仮想水計算機」](#)2022年10月20日閲覧
- 東京大学生産技術研究所 [「世界の水危機、日本の水問題」](#)、2002年7月18日(2003年1月31日、2003年7月修正版、その後も微修正)
- 特定非営利活動(NPO)法人日本もったいない食品センター [「食品ロスの現状と世界との比較」](#)、2022年10月20日閲覧
- 農林水産省 [「食品ロスとは」](#)、2022年10月20日閲覧
- 国土交通省 [「水資源問題の原因」](#)、2022年10月20日閲覧
- 環境省 [「平成22年度版 図で見る環境白書/循環型社会白書/生物多様性白書」](#)2022年10月20日閲覧
- 国連食糧農業機関(FAO) [「MAP S.8, LEVEL OF WATER STRESS OF ALL SECTORS BY MAJOR BASIN, 2018」](#)2022年10月22日閲覧
- 外務省 [「開発協力白書・参考資料集」](#)2022年10月22日閲覧



<https://de-denkosha.co.jp/datsutanso/>

脱炭素経営とは、再生可能エネルギーを創る「創エネ」、使う電気を減らす「省エネ」、創った電気を貯める「蓄エネ」をうまく活用し、会社・事業で排出する温室効果ガス「0」を目標にする経営のこと。

中小企業の私たちにも、できる取り組みが沢山あることを伝えたい。このような想いで、90年以上「電気」に向き合ってきた電巧社ならではのアイデアが詰まった創エネ、省エネ、蓄エネのソリューションをお伝えできる情報を、当サイトで発信しております。

DELレポートに関するお問い合わせ先はこちらへ

電気のコンシェルジュ

DENKOSHA

株式会社 電巧社

〒105-0014 東京都港区芝2-10-4

TEL: 03-3453-2221(本社代表)

担当: DELレポート事務局

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社電巧社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。